

会議開催結果概要書

1 審議会等の名称	市立岸和田市民病院地域医療支援委員会
2 開催日時	平成30年8月9日（木）午後2時から午後2時50分
3 開催場所	市立岸和田市民病院 3階講堂（後）
4 公開・非公開の別	（ <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 ）
5 非公開理由 （非公開の場合のみ）	
6 出席者	委員 10名、事務局 12名、その他（ ） 名
7 傍聴人数 （公開の場合のみ）	0名
8 議題及び審議概要	<p>【議事概要】</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 中山委員長挨拶</p> <p>3. 案件(1) 地域医療支援病院業務報告（30年度）について 平成30年4月から6月の実績について事務局より説明 委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。 委員：資料が二色刷りであるが、印刷の状況によって網掛け部分の文字や数字が鮮明でない箇所がある。もう少し見やすくしていただくと有難い。 事務局：貴重なご意見を参考に、見やすい資料となるようデザイン等を検討する。 委員長：他にご意見ご質問はないか。 各委員：なし 委員長：ご意見なしということで、本案件を了承する。</p> <p>案件(2) 市立岸和田市民病院からのご案内について 呼吸器内科部長高橋医師による健康講座の開催について説明。 委員：会場は何名定員で、申込状況はいかがか。 事務局：会場は30名定員で、まだ定員までにはまだゆとりがある状況である。 委員：町会連合会でも資料を頂き、校区長にも配布した。大宮地区に関しては市民協を通じて各部署へお知らせした。 委員：開催日時が平日の午後に設定しており、働</p>

	<p>く世代が参加しやすい時間設定にしても集客が難しい、という今までの経験もある。</p> <p>委員：主に中学生に対して講演することはあるのか。</p> <p>事務局：大阪府のがん教育の中で、教育委員会から協力依頼があった場合には実施することがあり、実際に昨年、今年と中学生に対して高橋医師が講演を行った。</p> <p>委員：大阪府も学校における禁煙教育には力を入れている。大阪府内のがん拠点病院へ依頼があり、その所属医師が医療圏内の中高生に対して講演を行っている。</p> <p>委員：禁煙に対する岸和田市の特性がわかるようなデータはあるのか。なぜならタバコの害については長年の岸和田市の課題であり、教育委員会から学生に対しての喫煙の害に関する教育は重要であると考え。未成年の喫煙率は、他市町に比べると岸和田市は高いとも聞いている。喫煙してから禁煙するのは難しく、喫煙する前からの教育が大事だと考える。子どもが参加するのは難しいとしてもご父兄や女性の方の参加しやすい時間設定をお願いします。歯科医師会には各会員へ配布した。</p> <p>委員：保健センターにおいては主に妊婦を対象とした禁煙の啓発活動を行っている。</p> <p>委員長：他にご意見ご質問はないか。</p> <p>各委員：なし</p> <p>委員長：ご意見なしということで、本案件を了承する。</p> <p>4. その他</p> <p>委員：市民病院は敷地内禁煙を実施しているが、患者による敷地外へのポイ捨てが目立つように感じる。また緩和病棟の運営について現状はいかがであるか。</p> <p>事務局：敷地内禁煙ということだけではなく患者さんへは病状からも喫煙はご遠慮いただいているが、敷地外まで目が届いていない現状がある。入院案内等でも広報しているが、アナウンスの強化を検討していく。</p> <p>委員：緩和ケア病棟は病院内の6階に20床全床個室で配置している。がんをやっつける治療の適応とならない方のつらさの症状を取る治療を専門的に行っている。緩和ケア内科専任医1名、がん看護専門看護師1名、その他のスタッフで運営している。現在常勤医が1名であり、20床稼動するとオーバーワークとなるため、14床稼動としている。緩和ケア病棟に入院し、症状が緩和された場合は、可能であれば自宅へ帰って頂</p>
--	---

	<p>き、また調子が悪くなれば入院される、という利用方法となっている。</p> <p>委員：もうだめだ、という人も自宅へ戻るのか。緩和というのは最期の場という意味になるのか。</p> <p>委員：患者さんにとって一番良い場所が自宅ということであれば、自宅で過ごせるような状態に緩和ケア病棟で体調を整えられて自宅へ戻られるのが一番いいのではないかと考えている。それが難しいようであれば、緩和ケア病棟での入院継続や施設への転院等で過ごされている。</p> <p>委員：緩和ケア病棟に入院されていた方が、周りで急にバタバタとしだしたら、「亡くなりなはったんやな、次は自分かな。」とすごく怖いと聞いたことがある。</p> <p>委員：病棟では亡くなられる時は少しバタバタする時もある。</p> <p>看護局長：最期の場所としてだけではなく、ご自宅で過ごしたいという希望があるときは症状を少しでも緩和してご自宅で過ごしていただき、また辛くなったら病棟へという形で、アロマを炊いたり音楽を流したり出来るだけ静かな環境で過ごして頂けるようにしている。ある程度緩和ケア病棟に入っておられる方には死の教育も行っており、静かに看取られる場合もあるが、それに間に合わない場合は少しバタバタすることもあるかもしれない。その辺りは改善できるようにしていきたい。</p> <p>委員長：他にご意見ご質問はないか。</p> <p>委員：熱中症で運ばれる人は多かったのか。</p> <p>委員：熱中症で亡くなられる方はいなかった。</p> <p>委員：急に気温が上がった時は忙しかったが、だんだん暑さ慣れしてくるのか出動件数も落ち着いてきた。日によってムラはあるが、最近は平年どおりである。</p> <p>看護局長：熱中症対策の講義を老人大学や公民館等で行っており、市民の方も対策は少しずつ出来るようになっていっていると考えている。また祭礼の時にも熱中症対策について話をしており、その観点からも対策が浸透しているのではないかと考えている。</p> <p>委員：水を飲みすぎてもいけないと聞いたが。</p> <p>看護局長：汗をかくと、塩分も出るので、スポーツドリンク等の塩分やミネラルが含まれる飲み物の方がよい。</p>
--	--

	<p>委員長：他にご意見ご質問はないか。</p> <p>委員：市民病院の課題、将来構想等があれば教えてもらいたい。</p> <p>委員：診療科の充実はまだまだ足りないところがあり、例えば救急診療、腎臓内科、膠原病内科の常勤医師の不在等、医師の働き方改革が言われているが、現状のスタッフだけではとてもオーバーワークになっているので、全ての診療科において医師の充実が望まれる。設備的には築22年経ち、配管やエアコン等の機器更新も必要となっている。</p> <p>委員：病院の会計としては黒字になっているのか。</p> <p>事務局：平成29年度も黒字見込みである。但し築22年経ち、建物の償還が現在ピークを迎えている。その支払いに非常に予算が必要となっており、後4～5年継続する。黒字ではあるが、予算が必要となっている。</p> <p>委員：市からの繰入金はいかがか。</p> <p>事務局：約14億である。</p> <p>委員：繰入金を合わせて黒字、ということか。</p> <p>事務局：そのとおりである。市民病院は救急や不採算医療等も担うにあたり、適正な額と考えている。</p> <p>委員：予期せぬ災害等が起こった際、一番頼りにしたいのが市民病院である。例えば無停電装置も新築当初のものを使用していると聞いたが。</p> <p>事務局：無停電装置も設備の更新計画に入っており、1～2年内には更新予定としている。</p> <p>委員：市民病院が出来て何年になるのか。</p> <p>事務局：平成8年に新築移転したので22年になる。</p> <p>委員：無停電装置の対応年数は。</p> <p>事務局：バッテリーは6～7年と言われており、一度更新している。本体は15年と言われており、7年経過している。故障してから更新は出来ないので、早急に対応したいと考えている。</p> <p>委員：対応年数15年と言われているところを22年経過しており、万が一何かあった場合に心配である。</p> <p>事務局：そういうことがないように、もう少し計画的に早く対応したいと考えている。</p> <p>委員長：他にご意見ご質問はないか。</p> <p>委員：他市であるが、将来の人口減少、医師の減少を踏まえて、病院の合併も検討していかなければならない、という話を聞いた。市立岸和田市民病院はどのように考えているか。</p>
--	--

	<p>委員 : 病院の統合については具体的な話はない。地理的文化的な側面から見ると岸和田市と貝塚市が近いと考えるが、関連大学が異なるので難しい。公立病院同士というよりは公立病院と民間病院の方が実現可能ではないか、と考える。</p> <p>委員長 : 他にご意見ご質問はないか。</p> <p>委員 : 人事について報告する。10 月から総合内科の常勤医 1 名が着任予定である。紹介患者を中心に診療する予定であるが、診療のシステムが決まり次第、地域連携ニュース等で報告する。また、前回の本会で急遽開催場所が変更になったが、移植希望の脳死状態となった患者に対する脳死判定会議及び臓器移植のための臓器摘出が行われた。心臓、両側の肺、両側の腎臓、角膜を新たにレシピエントに移植され、短期的な経過は良好とのことである。</p> <p>委員 : 肝臓は対象にならなかったのか。</p> <p>委員 : 医学的理由により対象とならなかった。</p> <p>委員長 : 他にご意見ご質問はないか。</p> <p>委員 : 透析についてはどうか。</p> <p>委員 : 公立忠岡病院と合併した時に、公立忠岡病院で維持透析を受けていた方を引き続き当院で対応している。新規に透析を開始する方はいない。</p> <p>委員 : 透析を受ける方が増えていると聞くが。</p> <p>委員 : 今後、透析導入は当院で行い、維持透析は隣の診療所に対応して頂くということを考えているが、そのためにも腎臓内科の常勤医が必要であり、体制を整えていきたい。</p> <p>委員長 : 他にご意見ご質問はないか。</p> <p>委員 : 看護師等大変な役割を担って頂いているにもかかわらず労働条件が厳しいと聞いたことがある。看護師を手厚く労っていただきたい。</p> <p>看護局長 : 有難うございます。出産後に復帰する女性医師や看護師も多く、働きやすい環境をこれからも整えていきたいと考えている。</p> <p>委員長 : 他にご意見ご質問はないか。</p> <p>各委員 : なし</p> <p>委員長 : ご意見なしということで、本案件を了承する。</p>
--	--

様式第1号（第6条関係）

	<p>事務局：ニュースせんなんにて病院の広報を月に1度行っている。ご高覧頂きたい。 また、平成30年度第3回委員会は平成30年11月15日(木)に開催を予定している。</p> <p>5. 閉会</p>
9 そ の 他	